

令和2年度学校経営計画書

新見市立新見第一中学校

I 本校のミッション（使命・存在意義）

1 生徒に対して

- （1）「知識基盤社会」を念頭に置き、将来を主体的にたくましく生きぬく生徒を育成する。
- （2）地域との連携を密にし、地域の良さに気づき、地域に貢献し、地域の文化を継承・発展させていく生徒を育成する。
- （3）グローバルな視点を持ち、これから始まる Society5.0 社会で活躍できる生徒を育成する。

2 保護者に対して

キャリア教育を核としながら、知・徳・体に関わる教育活動を通して、生徒の人間的・社会的・職業的自立の基礎を培いながら、生徒が成長していく過程を保護者と共有することで教育に関する協働意識・協働意欲を高める。

3 地域に対して

地域に開かれた学校づくりを通して、学校が地域住民のコミュニティの場となり、交流の拠点並びに街づくりの核としての役割を果たす。

II 内外の環境分析

		強み	弱み
内部環境	生徒	・全体的に素直で明るく心優しい生徒が多い。 ・基本的な生活習慣は概ね身に付いてきている。 ・基礎学力は概ね身に付いている。 ・運動や部活動に親しむ習慣が身に付いており、体力や運動能力が高い。 ・複数集団の良さを生かした教育活動が展開できるため、学級活動や学校行事へ意欲的に参加している。	・自ら進んで行動したり発言したりすることを遠慮する傾向がある。 ・家庭学習の時間が不十分であり、家庭学習の習慣化が急務である。 ・自分の考えをまとめて、書いたり話したりする力（アウトプットの力）が弱い。 ・多くの生徒が SNS を利用しているが、操作技能に比べ情報モラル、情報セキュリティの意識が低く、様々なトラブルがみられる。 ・学力不振や人間関係、家庭環境に起因する不登校生徒や別室登校の生徒が多い。
	保護者	・教育熱心で、学校行事への参加率は高い。 ・学校教育に対して協力的であり、PTA 活動に意欲的に取り組む機運がある。	・スマートフォンの買い与えに関しての危機意識が低い。 ・親として社会の先輩として、子育てに関する明確な価値観を持っていない保護者が多い。

	教職員	・熱心でまとまりがよく、協働する組織になっている。 ・常に自己研鑽に励む意欲と実践力を有し、学び続けようとする意欲が高い。 ・ICT 機器を効果的に活用する教師が多く、先行的に教育の創意工夫に取り組もうとする意欲が感じられる。	・教員として脂ののった中堅層が極端に少なく、若手に即戦力としての役割が求められることから、ベテランから経験の浅い若手への知の継承が急務である。 ・ベテランと若手の OJT の場を意図的に組む必要がある。 ・今日の教育課題はますます複雑多岐に渡っているため、関係諸機関との連携を一層密にする必要がある。
外部環境		・豊かな自然環境と保幼小中高大という一貫した教育環境が整備されている。 ・地域の中心部に位置し、規模的にも市の中心校であり、常に注目を浴びる存在である。 ・地域住民は総じて学校に協力的であり、地域で子供を育てようとする機運がある。 ・教育行政が ICT 設備の充実や外国語教育の充実など、情報化、国際化に向けた教育環境の充実に熱心である。	・中学校に上がる 8 小学校のうち 7 小学校は小規模校であり、小中における様々な段差の解消が求められる。 ・バス通学の生徒が 2 割を占め、様々な面で時間的な制約を受ける。 ・生徒数の減少に伴い、高等学校の入学者選抜の倍率が年々低下しており、学習意欲の低下に少なからず影響を与えている。 ・学校の働き方改革に対し、さらなる理解を求めていく必要がある。

Ⅲ ミッションの追及を通じて実現しようとする本校のビジョン（将来像、目指す姿）

1 学校教育目標 『はつらつと心豊にたくましく生きる力の育成』 2 校訓 『自立・協力』 3 目指す学校像 ◇生徒にとって「個性や能力が伸ばせる学校」 ◇職員にとって「生徒とともに成長できる学校」 ◇保護者・地域にとって「信頼される学校」 4 目指す生徒像 ◇進んで学習し、深く考える生徒 ◇思いやりを持ち、共に伸びようとする生徒 ◇心身を鍛え、何事も最後までやり抜く生徒
--

5 目指す教師像

- ◇生徒と誠実に向き合い、情熱を傾ける教師
- ◇家庭との連携を密に図り、温かく家庭と接する教師
- ◇自己研修、校内研修に励み、能力や資質の向上を図る教師。(理論と実践の往還を意識する。)
- ◇小学校との連携を一層深め、9年間で子どもたちを教育する視野をもつ教師。

IV 指導の重点

1 <知の領域>

(1) 指導の方針

学習支援体制を強化し、生徒の学習に対する自己肯定感を高め、学びに向かう意欲を高める。(なぜ学習しないといけないのか、キャリア教育の視点から考えさせる)

(2) 具体的な取組

- ◇学習指導のスタンダードに基づく授業改善を図るとともに、全教科において協同学習を核にして、生徒の能動的思考を重視した授業改善を図る。
- ◇放課後補充学習の時間枠を設け、複数の教員スタッフによる学習支援の時間と場を確保する。
- ◇「一中型まなびノート」を核にして家庭学習の充実を図り、学習に対する主体的学習態度を高める。

2 <徳の領域>

(1) 指導の方針

生徒の主体性を重視した教育活動を通して自己肯定感や自己有用感を高め、支持的風土の醸成を図る。(自己肯定感を持たせる、自信をつけさせる、目標を持たせる、方法を示す、意欲を喚起する)

(2) 具体的な取組

- ◇生徒指導の3機能を絶えず意識して、生徒が主体となる学級活動や生徒会活動、学校行事を企画・運営する。(自己存在感を与える、自己決定の場を与える、共感的人間関係を育成する)
- ◇「PBIS」の取組を推進し、望ましい行動の可視化を通して生徒の自己肯定感を高める。
- ◇「SEL」の学習ならびに学年間や校種間で実施可能な「ピア・サポート」の活動を取り入れることで、生徒の対人関係スキルや自己効力感、自己有用感を高める。

3 <体の領域>

(1) 指導の方針

保健・安全の維持と体力・気力の向上を図る。(物的安全と人的安全を確保する)

(2) 具体的な取組

- ◇主将を中心とした部活動への主体的で積極的な参加を通して、体力・気力の向上を図る。
- ◇安全点検を組織的・計画的に行うとともに教育相談の時間と場と確実に確保し、人的にも物的にも居心地のいい教育環境を整える。

令和2年度 中学校教育課程編成表

新見市立新見第一中学校

校長

小藤 一成

印

学 目 校 教 育 標		はつらつと心豊かに たくましく生きる力の育成				指 導 の 重 点		○学力の定着を図り、主体的に学ぶ態度を育成する。 ○自他を尊重し、互いに認め支え合う集団を育成する。 ○健康的な生活習慣を確立し、強い心と体を育てる。 ○将来を展望し、自己の生き方を考える意欲を育てる。										
年 間 授 業 日 数						授 業 時 数 の 配 当												
学 年		1		2		3		特 学 別 校 活 動 事	区 分	学 年	1		2		3			
日 数		209		210		203					儀 式 的 行 事		6		7		6	
授 業 時 数 の 配 当						文 化 的 行 事					4		4		4			
区 分		学 年		1		2					3		健 康 安 全 ・ 体 育 的 行 事		10		10	
各 教 科	必 修 教 科	国 語		156		158		113		活 動 事	旅 行 ・ 集 団 宿 泊 的 行 事		5		6		8 (9)	
		社 会		116		117		142			勤 労 生 産 ・ 奉 仕 的 行 事		5		8 (8)		2 (4)	
		数 学		151		120		142			計		30		35 (8)		25 (13)	
		理 科		116		150		142			総合を特活に代替する場合は、その時間数を（ ）書きで外数として記入すること							
		音 楽		48		38		36			1 日 の 時 程 表		そ の 他 学 校 の 教 育 活 動 に 関 す る 事 項					
		美 術		48		38		36			8:10 読 書 8:30 朝の会 8:50 1 校 時 9:40 休 憩 9:50 2 校 時 10:40 休 憩 10:50 3 校 時 11:40 休 憩 11:50 4 校 時 12:45 給食・休憩 13:40 5 校 時 14:30 休 憩 14:40 6 校 時 15:35 清 掃 15:55 帰りの会 16:10 個別指導 16:20 部活動 17:00 季節により変動 ～18:00 下 校	1. 総合的な学習の時間 ○プロジェクト学習として選択型と必修型の2パターンを実施する。 ○プログラミング学習で育成するプログラミング的思考力やプレゼンテーション力を、各プロジェクト学習に生かす。 A. 選択型プロジェクト学習（全学年） ○地域の産業 ○身近な福祉 ○郷土の偉人 ○地域の観光 ○地域の文化 B. 必修型プロジェクト学習 ～ふるさとキャリア学習～ 1年 新見発見プロジェクト 2年 新見体験プロジェクト 3年 新見貢献プロジェクト						
		保健体育		110		110		108				2. 一中タイム 水曜日6限目を一中タイムとして、各教科の補充学習にあてる。						
		技術・家庭		74		72		38				3. 朝読書 始業前20分間を読書活動に充てる。 読書習慣の定着と、落ち着いた学習環境づくりの一環として実施する。						
	外国語		151		150		144		4. 授業改革に向けて 次の3点をすべての授業の中に取り入れる。 ①作業的な活動（個人思考） ②小グループでの協働学習（グループ思考） ③生徒相互の発言の交流と共有（集団思考）									
	選 択 教 科	国 語								5. 個別指導 帰りの会終了後、必要に応じて個別の学習指導の時間を設定する。個別指導が必要な生徒を対象に少人数での学習支援を行う。								
		社 会								6. 家庭学習 「一中型家庭学習のスタンダード」に基づき、自ら学ぶ力を育成する。計画的な宿題・学びノート・学習支援の3つを柱にして、家庭学習時間の確保と充実を目指す。								
		数 学																
		理 科																
		音 楽																
		美 術																
		保健体育																
		技術・家庭																
	科	外国語																
		その他（ ）																
特別の教科である道徳		38		38		36												
総合的な学習の時間 （ ）内は特活に代替した時間数（内数）		65		80 (6)		71 (13)												
特別 活動	学級活動		50		50		35											
	生徒会活動		(20)		(20)		(20)											
総授業数 〔（ ）の時数を除く〕		1123		1121		1043												

令和2年度 中学校特別支援学級教育課程編成表

学校名		新見市立新見第一中学校		校長名	小藤 一成 印			
障害の種類		自閉症・情緒障害		学級名	ゆずりは学級			
学校 教育 目標	はつらつと心豊かに たくましく生きる力の育成			指 導 方 針	○人との関わりを円滑にし、よりよく生きようとする意欲や態度を身につける。 ○活力ある生活をするための資質や習慣を身につける。 ○生きるために必要な知識や技能を身につける。			
各 教 科	区分		授業時数の配当					
			1		2		3	
	必須 教科	国 語	155		153		110	
		社 会	112		112		142	
		数 学	150		120		142	
		理 科	115		150		142	
		音 楽	48		38		36	
		美 術	48		38		36	
		保健体育	110		110		108	
		技術・家庭	74		72		38	
		外国語	109		109		110	
		*（職業・家庭）						
	選 択 教科	国 語						
		社 会						
		数 学						
		理 科						
		音 楽						
		美 術						
		保健体育						
		技術・家庭						
外国語								
その他（ ）								
小 計		921 (81.4%)		902 (79.8%)		864 (82.5%)		
特別の教科である道徳		36 (3.3%)		36 (3.3%)		35 (3.4%)		
総合的な学習の時間 <>内は特活に代替した時間数<内数>		60 < > (5.5%)		80 < 6 > (7.4%)		70 < 13 > (6.8%)		
特別活動		46 (4.2%)		46 (4.2%)		39 (3.8%)		
*（自立活動）		60 (5.5%)		57 (5.3%)		35 (3.4%)		
総授業時数		1123		1121		1043		
年間授業日数		209		210		205		
予 定 生 徒 数	学 年	1		2		3		
	男	1		0		2		
	女	0		0		2		
	計	1		0		4		
備 考		音楽、美術、保健体育、技術・家庭は交流学級で実施。						

令和2年度 中学校特別支援学級教育課程編成表

学校名			新見市立新見第一中学校			校長名		小藤 一成 印			
障害の種類			知的障害			学級名		あけぼの学級			
学校 教育 目標	はつらつと心豊かに たくましく生きる力の育成					指導 方針	○活力ある生活をするための資質や習慣を身につける。 ○生きるために必要な知識や技能を身につける。 ○よりよく生きようとする意欲や態度を身につける。				
区分			授業時数の配当								
			1		2		3				
各 教 科	必 須 教 科	国 語		150		150		145			
		社 会		110		115		110			
		数 学		113		115		112			
		理 科		110		111		108			
		音 楽		48		38		36			
		美 術		48		38		36			
		保健体育		110		110		108			
		技術・家庭		74		72		38			
		外 国 語		78		78		78			
		*（職業・家庭）									
	選 択 教 科	国 語									
		社 会									
		数 学									
		理 科									
		音 楽									
		美 術									
		保健体育									
		技術・家庭									
		外 国 語									
		その他（ ）									
小 計			841 (76.3%)		827 (74.3%)		771 (75.9%)				
特別の教科である道徳			36 (3.4%)		36 (3.4%)		35 (3.4%)				
総合的な学習の時間 <>内は特活に代替した時間数<内数>			60 < > (5.7%)		72 < 6 > (7.6%)		70 < 13 > (6.9%)				
特別活動			46 (4.4%)		46 (4.4%)		35 (3.4%)				
*（自立活動）			140 (10.2%)		140 (10.3%)		130 (10.3%)				
総授業時数			1123		1121		1041				
年間授業日数			209		210		205				
予 定 生 徒 数	学 年		1		2		3				
	男		5		1		1				
	女		0		0		0				
	計		5		1		1				
備 考			音楽、美術、保健体育、技術・家庭は交流学級で実施。								

令和２年度 学校教育目標及び校内研究主題

新見市立新見第一中学校

<教育目標>

はつらつと心豊かにたくましく生きる力の育成

<研究主題>

主体的に学び合い、高め合う生徒の育成を目指して

<研究主任> 横見 信毅 ・ 谷岡 明日美

<今年度の取組について>

なぜ？

- 個性や能力を伸ばせる学校・進んで学習する生徒・共に伸びようとする生徒を育成したい
- 自己肯定感や自己有用感を感じている生徒が少ない
- 変化の多い社会で必要とされ、幸せに生きる人材を育成したい

どのように？

- 自己存在感を与える
- 自己決定の場を与える
- 共感的人間関係を育成する

何を？

- 協同学習
- SEL（社会性と感情の学習）
- ピア・サポート

<校内研修の流れ> ※日時は変更する場合があります。

日時	内容	
4月8日（水）	協議	・今年度の取組について・各部会の協議事項の確認
4月22日（水）	演習	・見取りの仕方と振り返りについて
5月13日（水）	授業研修会	・協同学習の授業実践（見取り・振り返り） （※全員が参観するために同じ授業を2時間公開）
7月22日（水）	協議	・1学期の振り返りと2学期にむけて
11月5日（木）	授業研修会	・SELの授業実践（見取り・振り返り）
3月3日（水）	協議	・1年の取組のまとめ

実践

<各部会で話し合ったことのまとめ>

協同学習

- ・協同学習にはコミュニケーションを目的としたものから、課題解決のための深い学びを目的としたものまでであるが、学期ごとにレベルアップしながら取り組む。
 - 1 学期…4 人班の定着と、4 人班でのコミュニケーションを深めることを目的とした協同学習
 - 2 学期…役割の定着を目的とした協同学習
 - 3 学期…課題解決や深い学びを目的とした協同学習
- ・話し合いの話形や役割のルーレットは共有のものを使用することができる。

ピア・サポート

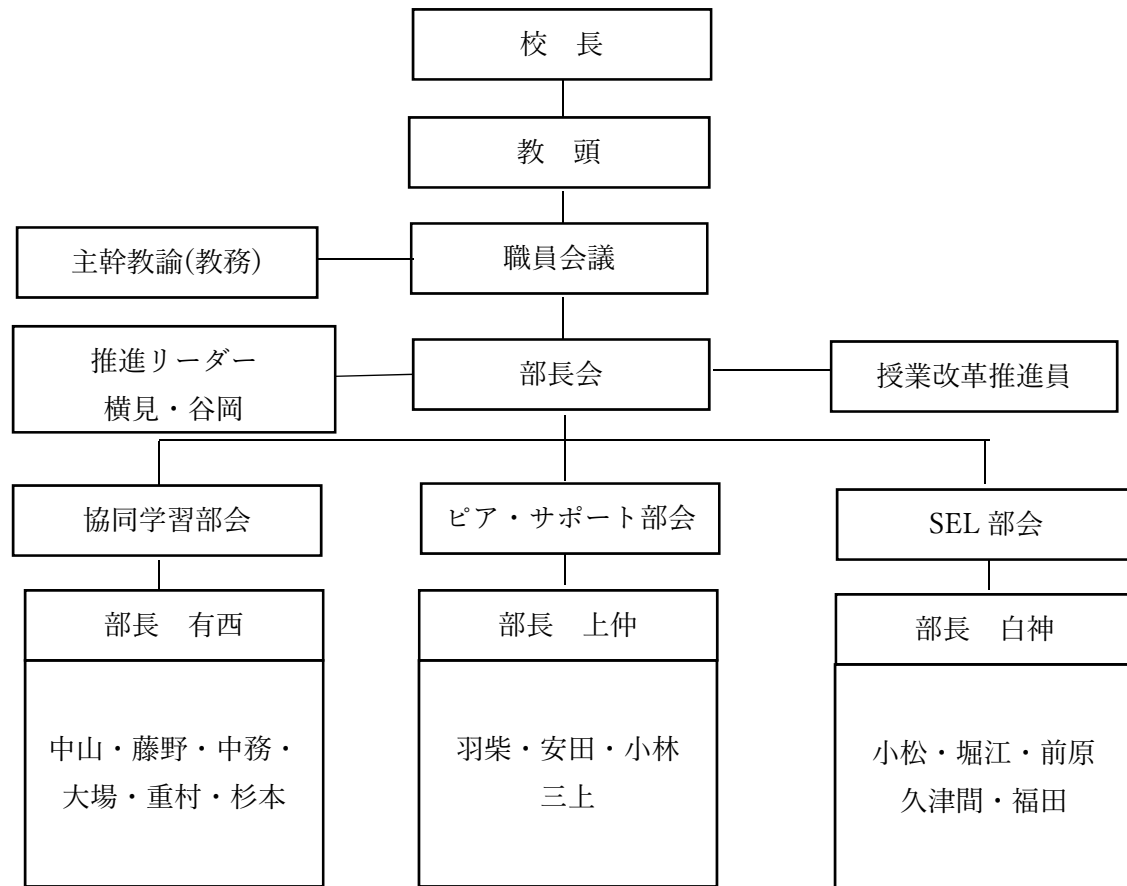
- ・サポーターと被サポーターを入れ替える仕掛けをしながら取り組む（得意なものを活かしてリーダー役ができるような仕組み）
 - 例）まなびタイムで3年生が1年生を教える
 - 班長会の実施 ※ただし、班長会の時間確保が必要
 - 人権集会を縦割りで話し合いをするなど

SEL

- ・2つの面での考え方が必要
 - ①学年の課題の洗い出しをして、学年での取組を考える
 - ②新見第一中の生徒として取り組みたいこと（挨拶・言葉遣いなど）を選んで学年を超えて実施していく

令和2年度校内研修体制図

新見市立新見第一中学校



各組織の役割

- 部長会 本校としての成果、課題の検討、今後の方向性について協議する。各部会の取組を確認し、関連のある取組を効果的に配置したり重複したりしないようにする。
- 部 会 各部会は部長と部員（学年から1～2名配置）で構成する。部会での協議がスムーズに学年団に伝わり、組織的に取り組むことができるようにする。

一中型 家庭学習のスタンダード

小・中学校・家庭が連携し、相互理解のもと
家庭学習時間の確保と充実を目指した取り組み

1年
80分

2年
90分

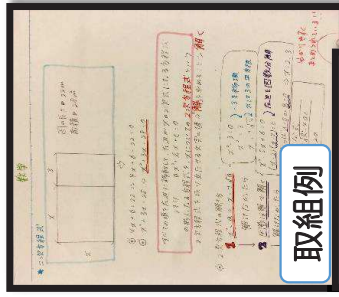
3年
100分

一 中 家 庭 学 習 時 間

自ら学ば力

まなびノートの取り組み (H28年度～)

- 毎日1ページ以上自主学習に取り組み、学習に向かう努力を評価する。教員からのフィードバックによる意欲の向上。



取組例

- 帰りの会で計画を立て、学習に取り組む。その日の振り返りをし、◎・○・△で自己評価する。

ポイント
R-PDCAサイクルで家庭学習を自分自身の力で構築していく。

計画・振り返りシート

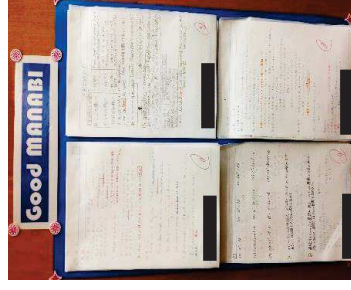
宿題による学習習慣の定着

- 国語・数学・英語の宿題を毎日出す。
- 提出物の点検を毎日行い、生徒の日々の頑張りを認め、意欲を高める。



学習に向かうための支援

- 取組みの好事例を紹介
- 生徒会主体のクラスマッチで意欲向上



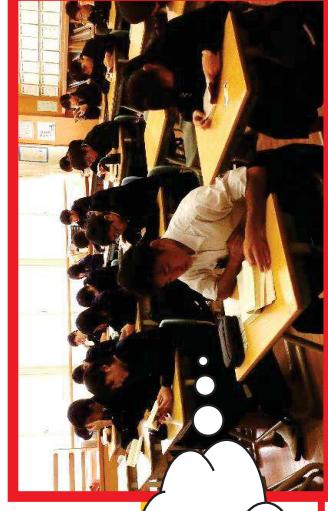
← 友達 の 学 び 方 を 学 ぶ



← 集団で学ぶ雰囲気
を高めていく

- 家庭学習の時間確保と定着のため、学校の取り組みの理解と協力を家庭に求める。

ポイント
学年・学校間の接続を意識し、「家庭学習の基本は『宿題+自主学習』である」と共通認識をもつこと！

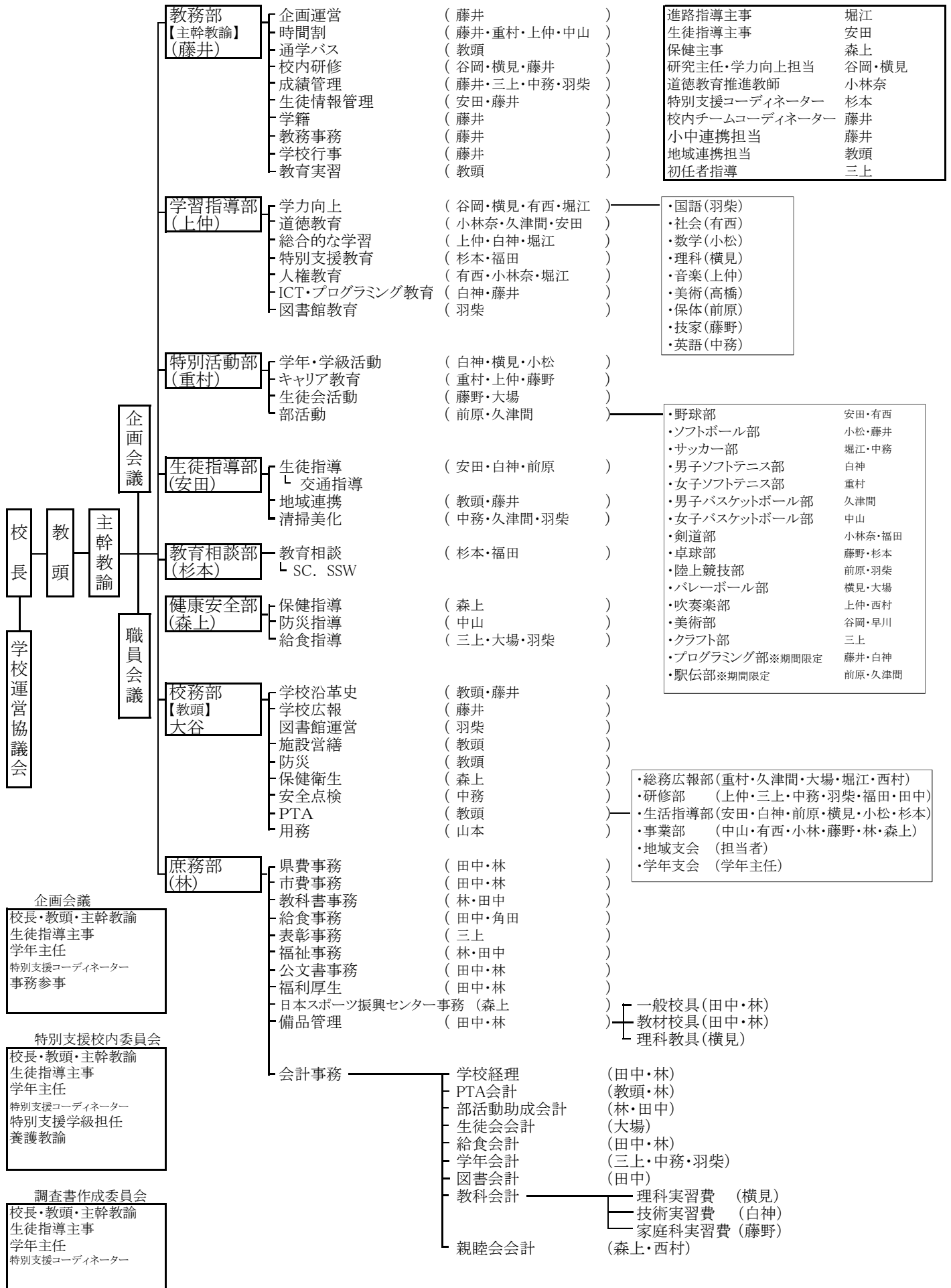


ポイント

眠っている頭を勉強
モードに切り替え！
落ちついた気持ちで学習に向かおう。

読書活動の充実→落ち着いた学習環境づくり・豊かな情操の獲得

登校後、20分間の朝読書を実施。教員も同じく読書活動に取り組む。



4月		給食	5月		給食	6月		給食	7月		給食	8月		給食	9月		給食	10月		給食	11月		給食	12月		給食	1月		給食	2月		給食	3月		給食
1	水	企画会議	金			月			水	職員会議	土			火				木	2年ふるさと出前授業？	日			火	期末考査	金	元日 開庁	月		月	1・2年学年末考査	1				
2	木	職員会議	土			火			木		日			水				金	振替休業日（9月19日分） 秋季備北総体	月	振替休業日（11月14日分）	水	期末考査	土	開庁	火		火		火	1・2年学年末考査	2			
3	金	職員会議	日	憲法記念日		水	専門委員会		金		月			木				土	秋季備北総体	火	文化の日	木			日	開庁	水	学びタイム	水	校内研修（まとめ）	3				
4	土		月	みどりの日		木	実力テスト		土		火			金			日	秋季備北総体	水	3年実力テスト 専門委員会	金	3年実力テスト 職員会議	月		木	入学説明会	木		木			4			
5	日		火	こどもの日		金			日		水			土	授業日		月	教育相談週間 （10月16日まで）	木		土		火		金		金		金			5			
6	月	生徒理解会議	水	振替休日		土			月		木			日	運動会		火		金	小中音楽会 漢字検定	日		水	3年補充学習（授業日）	土		土		土			6			
7	火	1学期始業式	木			日			火	健康の森交流会	金			月	振替休業日（9月5日分）	水	専門委員会	土		月		木	3年補充学習（授業日） 学校評価会議	日		日		日			7				
8	水	入学式 校内研修	金			月			水	専門委員会	土			火	振替休業日（9月6日分）	木	WRS2020（11日まで）	日		火		金	3学期始業式	月		月		月			8				
9	木	1年交通教室（2限～）	土			火	テスト週間・教育相談 （6月18日まで）		木	保護者懇談	日			水	専門委員会	金		月		水	専門委員会	土		火	公立特別入試	火	公立一般入試	9							
10	金	退任式	日			水	学びタイム		金	保護者懇談	月	山の日 開庁		木		土		火		木		日		水	公立特別入試	水	公立一般入試	10							
11	土		月			木			土		火	開庁		金		日		水	1・2年実力テスト 校内研修（協同学習）	金		月	成人の日	木	建国記念の日	木	3年生を送る会	11							
12	日		火			金	参観日		日		水	開庁		土		月		木		土	備北地区ダンス発表会	火	3年実力テスト 1・2年課題テスト	金	1・2年参観日	金	卒様式	12							
13	月		水	学びタイム		土			月	保護者懇談	木	開庁		日		火		金		日		水	専門委員会	土		土		13							
14	火		木			日			火	保護者懇談	金	開庁		月		水	学びタイム	土	参観日進路説明会PTA 講演会	月		木		日		日		14							
15	水	専門委員会	金			月			水	1年ふるさとキャリア学習	土	開庁		火		木	2年ふるさとキャリア学習	日		火	保護者懇談	金		月		月		15							
16	木		土			火	期末考査		木		日	開庁		水		金	2年ふるさとキャリア学習	月	サポートキャラバン （数学教育センター文科省） 3年ボランティア活動	水	保護者懇談	土		火		火		16							
17	金		日			水	期末考査		金		月			木		土		火		木	保護者懇談	日		水	専門委員会	水	学びタイム	17							
18	土		月			木	期末考査		土		火			金		日		水	学びタイム	金	保護者懇談	月		木		木		18							
19	日		火			金			日	県総体開始	水			土	文化祭	月	テスト週間・教育相談 （10月27日まで）	木		土		火		金		金		19							
20	月		水	専門委員会 弁当の日		土			月		木			日	吹奏楽祭？	火		金	新見市駅伝大会	日		水	学びタイム	土		土	春分の日	20							
21	火		木			日			火		金			月	敬老の日	水	学びタイム	土	テスト週間（12月2日まで）	月		木		日		日		21							
22	水	校内研修（協同学習）	金			月			水	1学期終業式 校内研修（ピアサポート）	土			火	秋分の日	木		日		火		金	3年学年末考査	月		月		22							
23	木	吹奏楽研修会（上仲）	土			火			木	海の日	日			水	学びタイム	金		月	勤労感謝の日	水	学びタイム	土		火	天皇誕生日	火		23							
24	金		日			水			金	スポーツの日	月	職員会議		木	3年実力テスト	土		火	教育相談（12月2日まで） 職員会議	木	2学期終業式 職員会議	日		水	職員会議	水		24							
25	土		月			木			土		火	2学期始業式		金	職員会議	日		水	学びタイム	金	3年補充学習（授業日）	月		木		木		25							
26	日		火			金	夏季備北総体		日	PTA奉仕作業・レク	水			土		月	中間考査	木		土		火		金	1・2年学年末考査	金	修了式 職員会議	26							
27	月		水	職員会議		土	夏季備北総体		月		木			日		火	中間考査	金		日		水	職員会議	土		土		27							
28	火		木			日	夏季備北総体		火		金			月		水	職員会議	土		月	開庁	木	私立一次入試？	日		日		28							
29	水	昭和の日	金			月			水		土			火	2年ふるさと出前授業？	木		日		火	開庁	金	私立一次入試？			月		29							
30	木	職員会議	土			火			木		日			水	2年ふるさと出前授業？ 校内研修（SEL）	金		月	期末考査	水	開庁	土			火		30								
31			日						金		月					土	健康の森収穫祭吹奏楽			木	開庁	日				水		31							
1年	16	16	34	18	56	22	72	16	77	5	98	21	119	21	138	19	156	18	171	15	189	18	209	20	授業日										
2年	17	17	35	18	57	22	73	16	78	5	99	21	120	21	139	19	157	18	172	15	190	18	210	20											
3年	17	17	35	18	57	22	73	16	78	5	99	21	120	21	139	19	158	19	175	17	193	18	203	10											
給食日		15		18		21		15		4		18		20		17		18		15		18			給食日	197									